

平成 30 年度公 2 事業報告書（川崎市国際交流センター事業）

（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

※事業名末尾の（ ）書きは、県申請時の「公益目的事業について」の【事業の内容】の頭書番号です。

I 情報収集・提供事業

■1 図書・資料室・情報ロビーの運営事業

(1) 図書・資料室の運営（2-7）

川崎市国際交流センターの図書・資料室の運営において、図書、資料、新聞、雑誌、ビデオなど国際交流関係図書等の充実を図るとともに、利用者への情報提供を行った。

ア 利用時間 午前 10 時～午後 8 時（開館日）

イ 利用対象 小学校 4 年生以上（小学校 3 年生以下は保護者同伴）

ウ 複 写 資料の必要箇所を著作権法の範囲でコピー可とした。

白黒コピー（B5～A3）1 枚 10 円

カラーコピー（B5～B4）1 枚 50 円（A3）1 枚 80 円

エ 閲覧等 原則閲覧利用とし、学校等公的団体へは貸出しを行った。

オ 利用者 10,499 人

カ 閲覧件数 図書等（2,832 件）ビデオ（52 件）CD（22 件）DVD（9 件）検索用パソコン（396 件）

キ 閲覧図書上位 1 児童向け図書

2 参考図書

3 語学

4 日本

5 ワールド

ク 蔵書数

書 籍	16,908 冊 和図書 14,108 冊 外国語図書 2,800 冊
新 聞 （日刊・週刊など）	17 紙 英語 1 紙 韓国・朝鮮語 1 紙 中国語 3 紙 日本語 10 紙 タガログ語 1 紙 日本語・中国語 1 紙
情 報 誌	38 誌 和雑誌 25 誌 外国語雑誌 13 誌 （うち在日外国人向け生活情報誌）9 誌
視聴覚資料	700 巻
新聞スクラップ	5 タイトル

（平成 31 年 3 月末現在）

(2) ロビー、ギャラリー等の運営 (2-7)

川崎市国際交流センターの各種施設を活用し、市民及び外国人への情報提供を行った。

ア 外国人への情報提供 (情報ロビー)

外国語専用のパンフレットコーナー及び掲示板を設置し、外国人市民への情報提供を行った。

イ 国際交流に係る資料や作品の展示 (情報ロビー)

国内外の文化に身近に接してもらうため、写真や絵画などの展示を行った。

ウ 姉妹・友好都市等ギャラリーの活用

姉妹・友好都市との盟約書及び記念品等を展示し、姉妹・友好都市の紹介を行った。

また、ギャラリーの一角を活用し、川崎市市民ミュージアムと連携して「イギリス人が見た、開国に至るまでのニッポン展」を7月24日(火)～8月26日(日)に、「ジャパン・パンチ～日本の漫画の源泉～展」を2月26日(火)～3月24日(日)に開催した。(来場者 前者約100名、後者約80名)

エ 国際交流に関わる情報提供 (談話ロビー、プロムナード)

国際交流や国際協力、また他団体などの各種事業、イベントなどのポスター、チラシ、パンフレットを掲示・配布し、市民への情報提供を行った。

オ 国際交流に関わる情報交換 (談話ロビー)

市民や団体などからの情報をメッセージボードに掲示し、相互の情報交換を行った。

カ 各国紹介パネルの展示 (情報ロビー、プロムナード)

在日大使館などから提供されたポスターや写真などを館内掲出し、紹介するとともにセンターの国際色豊かな環境づくりを行った。

キ インターネットコーナー (受付前)

無料で利用できるインターネットコーナーの稼働により、市民の情報収集の利便性を高めた。インターネットに接続したパソコン2台を設置し、市民への情報提供を行った。

(利用時間) 午前9時30分～午後8時 (施設点検日を除く)

(利用内容) インターネットの閲覧のみ

(利用料) 無料。1回あたり30分まで

(利用件数) 612件

ク 地域との連携

第27回川崎ジュニア文化賞の受賞作品を9月1日(土)～24日(月・祝)に展示し、地域社会との連携を図った。

(来場者) 約300名、(アンケート回答数) 21名

(3) 情報ロビー、展示ロビー、談話ロビーでの催事・展示 (2-7)

国際交流の拠点として、来館者が気軽に世界各国の文化に触れられるように、国際交流の写真や絵画などの展示を無料で行った。

ア 情報ロビー

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	日本語講座 外国人による日本文化書道体験	(公財) 川崎市国際交流協会	6月15日～7月5日
2	フットメザ講習会&体験会開催	フットメザ・ジャパン	6月17日～12月2日
3	ウーロンゴン市姉妹都市提携 30周年 &日本メキシコ外交関係 130周年	(公財) 川崎市国際交流協会	7月8日～9月30日
4	中央アジア・キルギスの写真家シャイ 口氏の写真展	ユーラシア協会 日本・キルギス 交流センター	9月21日～9月28日
5	川崎市・ウーロンゴン市姉妹友好都市 30周年記念 「市民交流団」 交流写真等の展示	(公財) 川崎市国際交流協会	11月1日～12月6日
6	多言語(日本語とポルトガル語)読み 聞かせ	(公財) 川崎市国際交流協会	12月14日
7	日本語講座 日本文化体験 ～消しゴムはんこ作り～	(公財) 川崎市国際交流協会	12月7日～1月7日
8	市民交流団 ウーロンゴン市を訪問	(公財) 川崎市国際交流協会	1月8日～2月4日
9	第6回「外国人が見たフォトコンテス ト」	(公財) 川崎市国際交流協会	2月5日～2月20日
10	日本民家園の写真	川崎郷土・市民劇上演実行委員会	3月1日～3月6日
11	子供の絵画・工作など	アトリエ5	3月8日～3月10日

イ 展示ロビー

	展示内容	主催団体等	展示期間
1	アマチュア写真と陶芸作品の展示	SYKフォトクラブ	4月25日～4月30日
2	かわさき大江戸時代まつりパネル展示	高島 厚子	5月4日～5月5日
3	末吉 光 紙版画展	末吉 光	6月21日～6月24日
4	街中スナップ写真展	井上 圭一郎	8月1日～8月6日
5	川崎ジュニア文化賞 作品展示	川崎信用金庫	9月1日～9月26日
6	絵画工作展示	アトリエ遊 川崎教室	9月28日～9月30日
7	書道作品展	日曜書道サークル	10月19日～10月21日
8	水墨画展示会	五墨会	10月23日～10月28日
9	第5回子ども絵画コンクール「笑顔」 in サラエボ入賞作品展	NGO イピルイピルの会	10月29日～11月4日
10	書道作品展	森書道教室	11月5日～11月11日
11	来年のえと作品展	アトリエ遊	12月22日～12月23日
12	花の作品展	花のワルツ	1月29日～1月31日
13	習字作品展示	日本習字葉菜習字教室	2月8日～2月10日
14	子供の絵画作品展	アトリエ5	3月7日～3月10日

ウ 談話ロビー

	開催内容	報告内容	開催日	参加人数
1	ポルチモアホームステイ対 面式とさよならセレモニー	日本語勉強中の13歳～17歳の男女4名 のホームステイの受入れのための対面式 とさよならセレモニーを実施	6月15日(金) ～6月18日(月)	22名
2	外国につながる子どもの高 校進学を考えよう！ ー実践報告会ー	外国につながる子どもたちの高校進学に 関する課題および当センターでの学習支 援の取り組みのプレゼン報告	3月2日(土) 午後2時～ 3時30分	11名

II 広報出版事業

■2 情報提供事業

(1) 国際交流センターだより等の発行 (2-8)

ア 「国際交流センターだより」の発行

(目的) 川崎市国際交流センターをより身近な施設として利用していただくため、センターの催物や講座、施設についての情報をニューズレター形式で発信した。

(発行) 年間11回(月刊、11・12月号は合併号)

(部数) 5,000部/回

(内容) 月間の行事予定、講座及び行事の募集、センターちょこっとだより、施設点検日、休館日のお知らせ、その他

(配布先) 各区役所、市民館、図書館など公共施設、川崎市内公立学校、中原区住吉地区町内会に回覧、その他国際交流関係機関など

イ かわさき国際交流センターニュース「SIGNAL」(シグナル)の発行

(目的) センター等の事業ならびに市内の国際交流活動、ボランティア活動などを紹介し、国際交流について広く市民に情報を提供した。

(発行) 年4回(季刊)

(部数) 5,000部/回

(編集等) 協会登録のボランティアが編集、取材、原稿作成、校正、発送などを行った。

(配布先) 各区役所、市民館、図書館などの公共施設、市内小中学校、高校、大学等、ボランティア、国際交流関係団体等

(2) センターホームページの運営 (2-8)

センター・協会のホームページにより、市民及び外国人の国際交流に関する多様な情報を提供した。適宜WEB刷新会議を開催し、より見やすいホームページとなるよう検討を行い、順次ウェブアクセシビリティに適合した記載、記述となるよう変更をすすめた。また、「センターについて」のページをポルトガル語とスペイン語、タガログ語でも表記できるよう、多言語化の整備を進めた。ホームページ URL <https://www.kian.or.jp/>

ア 川崎市国際交流協会について

国際交流協会案内 協会のイベント及び講座 協会が後援するイベント

ニューズレター 図書・資料室 国際交流事業への助成制度

イ 外国人への情報提供について

日本語講座 外国人窓口相談 生活情報

外国人留学生への助成制度 7言語での川崎市内のお知らせ

ウ 小学生への情報提供について

川崎市の外国人に関するデータ 姉妹友好都市

エ 川崎の魅力発信

「外国人が見た『カワサキ』フォトコンテスト」応募作品を掲載し、新たな川崎の魅力を発信

オ 多言語ブログ

「ブログ歳時記」として、他の広報媒体と重複しないテーマを中心に多言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、やさしい日本語）で原則月2回更新。月平均アクセス数 380~400 件。

カ その他

ボランティア活動 かわさき国際交流民間団体協議会 身近な国際協力

申請書様式 Facebook（フェイスブック）

（アクセス件数）132,404 件 （1日あたり 361 アクセス）

（更新数）6,749 回

(3) 各種メディアの活用 (2-8)

ア 「かわさきFM」の活用

「アクセスかわさき」等生放送番組に電話による出演などで、センター事業の広報を行った。スポンサーとなっている「世界の国からこんにちは」の番組では、川崎市内施設で学ぶ日本語講座受講生等が出演し、自国での経験や外国の新しい情報を届けた。

（出演日時）平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

（場所）武蔵小杉タワープレイス 1 階

（参加者）各回 2~3 名の外国人（中国・ベトナム等）市民とボランティア（日本）1 名

イ 「暮らしの窓」の活用

センターの指定管理者共同事業体の構成員が管理するマンションへ、定期的に配布をしている情報誌「暮らしの窓」に、センターのイベント情報、施設情報を掲載したチラシを挟み込み、センター事業の広報を行った。

（配布時期）平成 30 年 6 月

（配布先）中原区、宮前区、幸区、高津区内のマンション 213 か所 12,935 戸

ウ 「Facebook」(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

毎週 4 回以上、センターのイベントや講座及びセンターの様子などについて、写真や画像を掲載し、最新の情報を提供した。言語は内容に応じて日本語と「やさしい日本語」を使用した。

エ 川崎市のソーシャル・ネット・ワーキング・サービスの活用

(ア) 協働・連携ポータルサイト「つながっど KAWASAKI」

(イ) 「かわさきイベントアプリ」

(ウ) なかはらメディアネットワーク

(エ) かわさきの生涯学習情報（川崎市生涯学習プラザ）

(オ) かわさき市民活動ポータルサイト「応援ナビかわさき」ほか

Ⅲ 講座・研修事業

■3 日本語講座開催事業

外国人市民等の日本語学習を支援するため、段階別クラス編成による少人数の日本語講座を通年にわたり開講した。また、学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

(1) 日本語講座の開催(2-1)

ア 講座

(ア) 午前コース(午前9時50分～11時50分) 年間3期、週2回(火・金)

併せて、保育(受講生の1歳以上の子どもを預かる)も実施

1学期:4月17日～7月6日(22回)、2学期:9月18日～12月4日(22回)

3学期:1月15日～3月12日(17回)

(イ) 夜間コース(午後6時30分～午後8時30分) 年間3期、週1回(水)

1学期:4月18日～7月11日(12回)、2学期:9月5日～12月12日(15回)

3学期:1月9日～3月6日(9回)

イ 講師:協会登録の日本語講座ボランティア

ウ 活動ボランティア:協会登録の保育ボランティア(保育)、一般ボランティア(受付)

エ 場所:川崎市国際交流センター 会議室、協会会議室、研修室、ボランティア活動ルーム、
団体活動ルーム

オ 学習者:467名(38の国・地域)

(2) 特別講座(2-1)

学習者に日本文化等への理解を深めてもらうため、特別講座を開催した。

ア 手工芸講座 6月5日(火)

学習者等16名、講師4名 計20名(午前コース)

イ 書道体験 6月15日(金)

学習者58名、講師2名、日本語ボランティア10名 計70名(午前コース)

ウ 七夕飾り:短冊の書き方と飾りの作り方 7月3日(火)

学習者56名、日本語ボランティア10名、子ども10名 計76名(午前コース)

エ 七夕飾り:短冊の書き方と飾りの作り方 7月4日(水)

学習者32名、日本語ボランティア10名 計42名(夜コース)

オ 宙と緑の科学館(プラネタリウム)10月16日(火)

学習者等40名、子ども5名、日本語ボランティア15名 計60名(午前コース)

カ 手工芸講座 11月30日(金)

学習者等13名、講師2名 計15名(午前コース)

キ 消しゴムはんこ作り体験 1月9日(水)

学習者33名、日本語ボランティア9名 計42名(夜間コース)

ク 恵方巻き作り体験 1月30日(水)

学習者等35名 日本語ボランティア9名 計44名(夜間コース)

ケ 防災訓練 2月26日(火)

学習者32名、日本語ボランティア10名、保育ボランティア3名

子ども 10 名、職員 23 名、中原消防署、消防団他 参加者計 250 名

(3) 研修会(2-1)

ア 日本語講座ボランティアブラッシュアップ研修

協会登録日本語ボランティアを対象に研修を開催した。

(ア) テーマ「オンライン・リソースを活用した発音指導の方法」

(イ) 日時 平成 31 年 1 月 19 日(土) 午後 2 時～ 4 時

(ウ) 講師 早稲田大学 教授

(エ) 場所 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(オ) 参加者 28 名

イ 日本語講座ボランティア登録事前研修

協会の日本語講座ボランティア登録の希望者を対象に事前研修を開催した。

(日時) 平成 30 年 11 月 13 日、20 日、12 月 4 日、11 日

平成 31 年 1 月 15 日、1 月 12 日、19 日、26 日、3 月 5 日、12 日 火曜日

午後 2 時～ 4 時

(回数) 全 10 回

(講師) 東京外国語大学多言語多文化教育研究センターフェロー

協会日本語講座ボランティア講師

(場所) 川崎市国際交流センター

(内容) ボランティアの心得、川崎の識字教育のこれまでの歩みの紹介

当協会のオリジナルテキスト「日本語 160 時間」上・下巻を使って、カリキュラムや授業の進め方の模擬授業を学んだあと、実習を中心に学習。

(参加者) 5 名(協会日本語講座ボランティア登録希望者)

■4 国際文化理解講座事業 グローバルセミナー

(1) グローバルセミナー (2-3)

130 年前の 1888 年(明治 21 年) 11 月 30 日、日墨修好通商条約が締結された。当時、日本は欧米諸国との不平等条約(治外法権、関税自主権がない)に悩まされており、メキシコとの初の平等条約締結は不平等条約問題解決に道を開いた。このような歴史的事実と合わせ日本メキシコ外交関係 130 周年に関連し、日本・メキシコの友好関係の歴史と現在、アメリカとの関わりなど、メキシコの多様性を知るためのセミナーとした。

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	2 月 2 日	日本とメキシコの今 - トランプ政権に向き合う -	大学准教授、日墨交流会会長	21 名
2	2 月 9 日	食文化からみたメキシコの多様性 - 『タマーレス』を作る	メキシコ料理シェフ	20 名
3	2 月 23 日	日墨友好を歴史にみる	在日本メキシコ大使館文化担当参事官	20 名

(2) 国際文化理解講座 (2-3)

日本メキシコ外交関係 130 周年を記念して、メキシコの文化を代表する音楽と民族舞踊を体験する講座。心躍るリズムに乗せて「サパテアード（ステップ）」に挑戦した。受講者は平成 30 年 9 月 27 日実施の『魅惑の音楽紀行～メキシコの民族音楽と舞踊～』に出演した。

(日時) 平成 30 年 9 月 8 日、22 日、29 日 (土) 午前 10 時～11 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター レクリエーションルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	9 月 8 日	メキシコの音楽と踊りについて講義 メキシコ民族舞踊のワークショップ 1	メキシコ民族舞踊団「メヒコ・エン・ラ・ピエル」主宰者	14 名
2	9 月 22 日	メキシコ民族舞踊のワークショップ 2	メキシコ民族舞踊団「メヒコ・エン・ラ・ピエル」主宰者	18 名
3	9 月 29 日	メキシコ民族舞踊のワークショップ 3	メキシコ民族舞踊団「メヒコ・エン・ラ・ピエル」主宰者	14 名

■5 国際理解講座事業

地域社会の多文化共生を推進するため、外国語(英語、中国語)による文化や課題などの紹介を通して、国際理解を深めた。

(1) 外国語による国際理解講座(2-2)

ア 英語による国際理解講座(前期)

当協会登録ボランティアなどの外国人市民等を講師に招き、中級レベル以上の英語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。それぞれの母国の文化や社会問題、日本での異文化体験について、講義と交流を行った。

(日時) 平成 30 年 6 月 2 日(土)、6 月 9 日(土)、6 月 16 日(土) 午前 10 時 30 分～12 時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	6 月 2 日	“A Tale of A City: New Orleans – The People and The Culture” 「ニューオーリンズ – その街の人と文化」	協会国際理解教育講師	39 名
2	6 月 9 日	“The 2012 London Olympics, British Sports and looking to the future” 「2012 年 ロンドンオリンピック、イギリスのスポーツとこれから」	川崎市国際交流員	36 名
3	6 月 16 日	“Lost in Translation” 「原文と翻訳の間の言葉と文化」	協会国際理解教育講師	38 名

イ 英語による国際理解講座(後期)

(日時) 平成 30 年 11 月 10 日(土)、11 月 17 日(土)、12 月 1 日(土) 午前 10 時 30 分～12 時

(場所) 国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	11月10日	“From Mexico to Japan: getting out of ‘Comfort Zone’ ” 「メキシコから日本へ - ‘Comfort Zone’ を飛び出して見つけたもの」	語学講師	40名
2	11月17日	“The Science of Beauty – less than an opinion” 「美の科学 – 個人的見解」	協会国際理解教育講師	40名
3	12月1日	“Food Culture of Sri Lanka” 「スリランカの食文化」	協会国際理解教育講師	42名

ウ 韓国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の韓国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

(日時) 平成30年9月29日(土) 午後1時～3時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) 韓国の歌番組やニュースを視聴しながら、地方や年代による言葉やスタイルを学んだ。

受付や司会を韓国人留学生に担当してもらい、参加者との交流もはかった。

(講師) 韓国語講師、詩人

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	9月29日	韓国社会を理解するキーワード	韓国語講師・詩人	18名

エ 中国語による国際理解講座

外国人市民を講師に招き、中級レベル以上の中国語学習者を対象に、国際理解講座を開催した。

日本人も馴染みがあり、中国でもよく使われる格言などの日常的な使い方から最近の流行語まで学んだ。また、中国のテレビ局で記者を務めていた講師から50年代から現代までの中国の劇的な変化を体験や中国の新聞を通して語ってもらった。

受付や司会を中国人留学生に担当してもらい、参加者との交流もはかった。

(日時) 平成30年10月6日(土) 午前10時～12時

平成30年10月13日(土) 午前10時～12時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

	開催日	内 容	講 師	受講者
1	10月6日	中国語の勉強を倍楽しくする方法	孔子学院客員 研究在日華人女性交流会長 新華僑人会理事講師	26名
2	10月13日	劇的に変わっていった人民の生活 と考え方	元中国テレビ局記者 元外語学院・北京範講大学講師	25名

オ 日本語による国際理解講座

オリンピックでメダルを獲得し世界的に活躍した著名人を招き、東京オリンピックパラリンピックを見据えた講座を開催した。センター設立記念「特別な日の特別な講演」として、講演会形式

で参加費無料で実施した。

(日時) 平成 30 年 10 月 12 日 (金) 午後 6 時 30 分～ 8 時

(場所) 川崎市国際交流センター ホール

(講師) 元体操選手オリンピック金メダリスト 森末慎二

(内容) 私たちはグローバル社会の中で如何に生きるか

(参加者) 125 名

■6 ボランティア養成事業

(1) 観光ボランティア通訳セミナー(2-2)

初中級レベルの英語力で、外国人を案内・交流したいと考えている人材を対象に研修を開催し、訪日外国人についてや川崎でのおもてなしポイントを学んだ。

	日 時	内 容	講 師	受講者
高校生世代のためのコース	2月9日(土) 午前10時～12時	・外国人観光客、インバウンド状況について知る。 ・道案内などの英語フレーズを学ぶ。 ・川崎の観光名所やおすすめポイントをワークショップ形式で考え発表する。	訪日インバウンド対応 総合研究所所長 インドネシア語・英語 翻訳・通訳/外国人誘客 コンサルタント	13名
午前コース①	2月14日(木) 午前10時30分～12時			41名
午前コース②	2月21日(木) 午前10時30分～12時			
全日コース	2月11日(月・祝) 午前10時30分～12時 午後1時～2時30分			40名

(2) プロボノによる多文化共生社会推進事業 (2-2)

ア 「多文化社会に生きる」講演会

多文化社会に生きる子どもの教育支援を担ってきた講師に、複数の文化にまたがって育つ子どもたちの成長や教育について学び、一層の多文化共生社会の実現を目指すために講演会を行った。

(日時) 平成 30 年 7 月 16 日 (月・祝) 午後 2 時～4 時 30 分

(講師) 明治大学国際日本学研究科特任教授

(内容) 「多文化社会に生きる」講演会を開催

(参加者) 30 名

イ 地域資源を活用した外国籍の子ども支援

(ア) 外国につながる子どもたちの教育課題を考えるフォーラム

(日時) 平成 30 年 6 月 24 日 (土) 午後 2 時～4 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センターレセプションルーム

(内容) 学習支援実践報告

「環境に恵まれない子どもたちへの支援」について

グループディスカッション、グループ発表、全体共有とまとめ

(講師) (特非)女性の家サーラー理事、かながわ国際政策推進懇話会委員 新倉 久乃

國學院大學人間開発学部教授

(参加者) 44 名

(イ) 外国につながる子どもの学習支援サポーター養成研修

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	8月4日(土) 午前10時～11時	外国につながる子どもたちの現状と課題、学習支援の意義、「寄り添い」学習支援の大切さなど	多文化活動連絡協議会代表	14名
2	8月4日(土) 午前11時～12時20分	書く力を育てていくための支援方法～楽しく意欲的に書くために必要なこと～	NPO日本語・教科学習支援ネット	14名
3	8月4日(土) 午後1時30分～2時50分	日本語を第二言語とする子どもたちが学ぶために必要なこと ～算数・数学編	NPO日本語・教科学習支援ネット	14名
4	8月4日(土) 午後2時50分～3時30分	学習支援が必要な子どもを考えよう～生活困窮、在留資格など～	多文化活動連絡協議会代表	14名
5	8月4日(土) 午後3時30分～4時50分	学習支援が必要な基礎力～やさしい日本語の演習～ ～学習支援に有効な教材紹介～	NPO日本語・教科学習支援ネット	14名

(ウ) 外国につながる子どもの学習支援者のための在留資格講座

(日時) 平成30年12月8日(土) 午後2時～5時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) (a) 学習支援と在留資格

(b) 在留資格を知ろう

(講師) 多文化活動連絡協議会代表、弁護士

(参加者) 17名

(エ) 外国につながるこどもの自立支援

(a) キャリアデザインに向けて

(日時) 平成31年1月26日(土) 午前10時～12時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(内容) ワールドカフェによるワークショップ

学習支援の活動と期待

キャリアデザインを考える

(参加者) 13名

(b) ”Scratch”プログラミング体験

(日時) 平成31年2月3日(日) 午後1時～4時

(場所) 川崎市国際交流センター 研修室

(内容) ゲームを作ってみよう

(参加者) 16名

(オ) 外国につながる子どもの学習支援サポーターブラッシュアップ研修

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	3月9日(土) 午前10時～10時50分	外国につながる子どもたちの現状と課題、学習支援の意義、「寄り添い」学習支援の大切さなど	多文化活動連絡協議会代表	11名
2	3月9日(土) 午前11時～午後12時20分	学習支援者に必要な基礎力～日本語を支援するための基礎知識～	NPO日本語・教科学習支援ネット	11名
3	3月9日(土) 午後1時30分～2時50分	作文支援のアイデア ～楽しく意欲的に書くために～	NPO日本語・教科学習支援ネット	11名
4	3月9日(土) 午後3時～3時20分	学習支援が必要な子どもを考えよう ～生活困窮、在留資格など～ 子どもの中に大人になる準備を考える	多文化活動連絡協議会代表	11名
5	3月9日(土) 午前10時～10時50分	日本語を第二言語とする子どもたちの「算数・数学」支援を考えよう 算数・数学は楽しい	NPO日本語・教科学習支援ネット	11名

(カ) 外国につながる子どもの学習支援「宿題を一緒にしましょう」

4月1日(日)～3月31日(日) 延べ48回 参加者236名 支援者334名

(キ) 各種事業

(a) 文化交流会

(日時) 平成30年11月11日(日) 午前10時～午後1時30分

(場所) 川崎市国際交流センター 料理室、第4・5会議室

(内容) ロシア料理をみんなで作って食べて楽しく交流
メキシコとネパールの文化紹介

(参加者) 25名

(b) 文化交流会

(日時) 平成31年2月17日(日) 午前10時～午後1時30分

(場所) 川崎市国際交流センター 料理室、第4・5会議室

(内容) キルギス料理をみんなで作って食べて楽しく交流
キルギスの文化紹介

(参加者) 17名

(c) 多言語読み聞かせ

(日時) 平成30年10月27日(土) 午後3時～4時

(場所) 川崎市国際交流センター 第1会議室

(参加者) 20名

(d) 多言語読み聞かせ

(日時) 平成31年3月21日(木・祝) 午後3時～4時

(場所) 川崎市国際交流センター第1会議室

(参加者) 22名

(4) 多文化ソーシャルワーク入門講座「コミュニティ通訳セミナー」(2-2)

2020 東京オリンピック・パラリンピックに向けた、「かわさきパラムーブメント」の動きに連動し、多文化共生社会の推進をすすめるコミュニティ通訳ボランティア（タガログ語）を養成するため講座を開催した。

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	2月10日(日) 午後1時30分～ 3時30分	コミュニティ通訳とは？多文化共生社会のコミュニケーション	M I Cかながわ スタッフ	7名
2	3月3日(日) 午後1時30分～ 3時30分	ハローワークでの通訳 仕事の紹介、失業手当の給付		10名
3	3月17日(日) 午後1時30分～ 3時30分	子育て支援場面での通訳 保育園と幼稚園		6名
4	3月31日(日) 午後1時30分～ 3時30分	日常生活場面での通訳 区役所手続きなど		6名

IV 国際交流促進事業

■7 日本語スピーチコンテスト事業

(1) 日本語スピーチコンテスト(2-5)

川崎市内の大学や専門学校の留学生や日本語講座の学習者及び企業等の外国人研修生等を対象に、第24回日本語によるスピーチコンテストを開催し、日本人と外国人との相互理解を深めた。また、交流会を開催し、出演者と聴衆、関係者との交流も実施した。

(日時) 平成31年2月16日(土) 午後1時～5時

(場所) 川崎市国際交流センター・ホール 他

(内容) スピーチコンテスト、交流会

(主催等) 主催：川崎市国際交流センター

協賛：川崎ライオンズクラブ、川崎南ロータリークラブ、川崎中ロータリークラブ

協力：国際ソロプチミスト川崎、東京衣裳きもの学院

後援：川崎商工会議所、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(対象) 日本語を母語としない来日5年以内の外国人で、企業の外国人研修生、市内の大学、専門学校の留学生、市民館等の日本語講座の学習者等

(出場団体等) 10団体 15名

タイ 「日本に来て幸運な私」 日本語クラブ 土曜の会

中国 「親孝行する人される人」 専修大学

台湾 「ありがとう」 外語ビジネス専門学校

ミャンマー 「今、伝えたいこと」 米山ファッションビジネス専門学校

中国 「群盲象を評す」 幸市民館

中国 「日本のトイレ事情」 宮前市民館

韓国	「大好きな子たちへ」	専修大学
イギリス	「お風呂の幸せ」	川崎市国際交流協会
中国	日本に来てからの「カルチャーショック」	米山ファッションビジネス専門学校
台湾	「東京の電車」	法政大学第二高等学校
中国	「私は着物が好き！」	川崎市国際交流協会
韓国	「言語学習」とは何だ?!」	昭和音楽大学
中国	「中国と日本のゲームの違い」	株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
インド	「私の両親」	川崎市国際交流協会
中国	「寮の物語」	昭和音楽大学

(聴衆参加者) 251 名

(交流会参加者) 112 名

■8 国際文化交流会事業

市民の国際理解を深めるため、音楽・映画等を通じた国際文化交流会を開催した。

(1) 「多文化映画会」(2-2)

自主上映である「さとにきたらええやん」の映画会を開催した。上映後は、監督により「こどもの里」を取り巻く現状や誰もが安心できる居場所とは何か等の課題について理解を深めることができた。

(日時) 平成 31 年 3 月 16 日 (土) 午後 2 時～4 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センターホール

(内容) 映画「さとにきたらええやん」

コミュニティの重要性とささやかだが愛情に満ちた日常の大切さを描いてあり、地域のつながりの大切さを考えるきっかけとなる内容であった。

(参加者) 62 名

(2) 世界の音楽会 (魅惑の音楽紀行) (2-6)

日本メキシコ 外交関係 130 周年を記念し、メキシコの伝統的な音楽グループであるマリアッチが来日して音楽活動をする機会をとらえ、日本で活躍するメキシコ人舞踊グループと一緒に出演してもらうコンサートを企画した。コンサートでは、メキシコ文化を体験してもらうため、お祝いごとにはかかせない「ピニャータ割り」を実施しメキシコの軽食も提供した。またロビーではメキシコの民族衣装や民芸品のパネル展示、ビデオ上映、メキシコの物産や民芸品の販売コーナーを設け、メキシコの文化を体験してもらった。

(日時) 平成 30 年 9 月 27 日 (木) 午後 6 時 30 分～8 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センターホール

(後援) メキシコ大使館、「音楽のまち・かわさき」推進協議会

(内容) 「メキシコの民族音楽と舞踊」

(出演) マリアッチ・アガベ (伝統音楽グループ)、メヒコ・エン・ラ・ピエル (舞踊団)

(参加者) 115 名

(3) Winter Gathering & ウーロンゴン大学生と交流する会 (2-3) (再掲)

市内及び近隣に住む外国人や留学生と、交流を希望する日本人が、演奏・舞踊・体験等を通して国際交流できる場を提供し、国際文化の理解を深める。また、オーストラリア・ウーロンゴン大

学から川崎研修で来川している学生にも参加を促し、川崎市民と交流する機会とした。

(日時) 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時 30 分

(会場) 川崎市国際交流センター ホール

(内容) 「外国人が見た『カワサキ』フォトコンテスト」表彰式

世界の音楽・舞踊ステージ&交流ワークショップ

中国の歌と日本の歌 (二重唱・デュオ) ウーロンゴン大学生の発表

ベリーダンス Donya (ドニア) 切り絵のパフォーマンス

Lumad Japan 演奏と歌 (フィリピン出身)

ピアノ演奏

(情報コーナー) 学習支援コーナー

(体験コーナー) 中国の切り紙

(世界のお茶とお菓子の試食・試飲コーナー) 中国、モンゴル、フィリピン、ブラジル

(参加者) 200 名

(参加費) 無料

(4) 生活にほんごサロン (2-1)

日本語教室に通えない外国人市民に、日本語サロンサポーターを 1 対 1 でマッチングし、日本語を学ぶ機会を提供するとともに、相互文化について理解を深める多文化共生の場を提供した。年度末に支援者、学習者の感想や気付きを調査し、年間の活動の報告を行った。

(日時) 平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

(場所) 川崎市国際交流センター エントランスロビー

(内容) 日常生活での困った事や日本語学習など、ペアで相談し決定し、学習や交流をする。

(期間) 1 年

(参加者) 延べ 304 名

(参加費) 無料

<生活にほんごサロンサポーター研修>

	日 時	内 容	講 師	受講者
1	8 月 31 日 (金) 午前 10 時～12 時	生活にほんごサロンの学習と 支援のあり方について	(公社)日本語教育学会 人材育成コーディネーター	17 名
2	8 月 31 日 (金) 午後 1 時～3 時	外国人市民のために自分たちが できることは何か。	(公社)日本語教育学会 人材育成コーディネーター	17 名
3	9 月 1 日 (土) 午前 10 時～12 時	外国人と共に学ぶ日本語とコ ミュニケーションの方法	一橋大学国際教育交流センター 准教授	25 名
4	9 月 1 日 (土) 午後 1 時～3 時	「やさしい日本語」を外国人と 共に学ぶ	一橋大学国際教育交流センター 准教授	25 名
5	9 月 2 日 (日) 午前 10 時～12 時	川崎市の外国人市民施策と サロンサポーターへのお誘い	(公財)川崎市国際交流協会 交流事業課長	18 名

V 外国人相談事業

■9 外国人相談事業

外国人から日常生活などに関する相談を受け、情報提供と助言を行うとともに、必要に応じて関係機関・団体等を紹介した。川崎市国際交流センター、川崎市役所、麻生区役所の相談員全員による相談報告と情報交換のためのミーティングを原則毎月1回行った。

(1) センター相談事業(2-4)

川崎市国際交流センター

(相談言語・相談日) 協会相談員6名 いずれも午前10時～12時、午後1時～4時

英語 月・火・水・木・金・土 中国語 火・水・金

韓国・朝鮮語 火・木 ポルトガル語 火・金 スペイン語 火・水

タガログ語 火・水

(2) 相談実績

川崎市国際交流センターにおける年間相談数 1558件

なお、昨年度まで川崎・麻生両区で実施していた区役所相談窓口は、今年度から市の委託である「区役所外国人相談通訳派遣事業」(公1)に移行。

(3) 相談支援(2-4)

ア 専門相談・各種連絡会議等

(センター内)

行政書士による「外国人ビザ無料相談会」(毎月第3日曜日 午後2時～4時)

(外部)

かながわ外国人居住支援NW運営協議会、川崎市あんしん住宅ネット会議、

川崎市女性保護事業関係機関連絡会、川崎市DV被害者支援対策推進会議、

中原区子育てネットワーク会議・中原区未来フェスタ実行委員会、

関東ブロック国際化連絡協議会、神奈川県外国人相談機関連絡会、

多言語支援センターNW会議、関弁連外国人相談担当者による懇談会

行政機関・同種団体・研究機関等からのアンケート、調査協力依頼への回答多数

イ 相談員研修

センターの相談員全員による相談事案の共有と情報交換のためのミーティングや研修を、毎月第4火曜日に川崎市国際交流センターで行った。さらに、川崎市国際交流センターで実施する研修や外部機関が実施する研修に相談員を参加させるなど、新しい情報の収集に努めるとともに、相談員の資質向上に努めた。

第1回 平成30年 6月26日(火)「来日外国人等対応検討」 神奈川県高津警察署

第2回 平成30年 11月27日(火)「在留資格について」 東京入国管理局職員

第3回 平成31年 3月26日(火)「相談員の心のケア」 心理学者

ウ 外部研修会等への派遣

外国籍県民相談員研修会

第1回 平成30年 5月25日(金)「相談援助の基本を考える」

第2回 7月23日(月)「外国籍の子どもの支援」

- 第3回 8月21日(火)「外国につながる子どもの支援」
 第4回 12月12日(水)「労働現場における外国籍県民の現状」
 第5回 平成31年2月22日(金)「外国籍県民の住まいに関する現状と支援」
 9都都市合同防災訓練事前研修 平成30年8月8日(水)
 神奈川県外国人居住支援NW運営協議会 平成30年12月17日(月)
 関東弁護士会連合会管内外国人相談担当者による懇談会 平成31年1月30日(水)
 神奈川県外国籍県民支援・相談機関連絡会 平成31年2月15日(金) その他

VI その他の事業

■10 東京オリンピック・パラリンピック関連事業

- (1) 観光ボランティア通訳セミナー (■6- (1) 再掲)
- (2) 多文化ソーシャルワーク入門講座「コミュニティ通訳セミナー」(■6- (4) 再掲)
- (3) 日本語による国際理解講座「特別な日の特別な講演」(■5- (1) 才再掲)

■11 国際交流センター設置目的に沿った事業

(1) 地域資源を活用した外国籍の子ども支援 (自主事業)

ア 外国につながる子どもの学習支援サポーター養成研修

(日時) (ア) 平成30年4月28日(土) 午後2時~5時

(イ) 平成30年11月10日(土) 午後2時~5時

(ウ) 平成30年11月24日(土) 午後2時~5時

(エ) 平成31年2月16日(土) 午後2時~5時

(内容) 外国につながる子どもの背景・課題理解と学習支援の概要、登録面接

(講師) 多文化活動連絡協議会代表

(参加者) (ア) 7名 (イ) 2名 (ウ) 2名 (エ) 1名

(参加費) 無料

(協力) 多文化活動連絡協議会

イ 外国につながりを持つ中学生世代の日本語・強化学習支援者のための一日講座

(日時) 平成30年5月26日(土) 午前10時~午後5時

(参加者) 40名

(内容)

	内 容	講 師
1	外国につながる子どもたちの現状と課題	多文化活動連絡協議会代表
2	日本語を第二言語とする子どもたちが学ぶために必要なこと	横浜市教育委員会 日本語講師
3	書く力を育てていくための支援方法	横浜市小学校国際教室 非常勤講師
4	学習支援が必要な子供を考えよう	多文化活動連絡協議会代表
5	学習支援者に必要な基礎力	神奈川県立高校 日本語非常勤講師

(協力) 多文化活動連絡協議会

(協賛) 認定 NPO 法人 W21 ジャパン・たかつ

ウ 外国につながる子どもたちの教育課題を考えるフォーラム

(日時) 平成 30 年 6 月 24 日 (日) 午後 2 時～ 4 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター・レセプションルーム

(参加者) 45 名

(内容) 第一部 発表 川崎市国際交流センターでの学習支援実践報告 (社会人、学生)
お話「環境に恵まれない子どもたちへの支援」

(特非) 女性の家サーラ理事 & かながわ国際政策推進懇話会委員

第二部 グループディスカッション

第三部 全体共有とまとめ 國学院大学教授

(協力) 多文化活動連絡協議会

エ 学習支援サポーターのための自主学習会 算数・数学の支援

(日時) 平成 30 年 7 月 14 日 (土) 午後 2 時～4 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 8 名

(講師) 元数学教師 (学習支援サポーター・当協会登録ボランティア)

(協力) 多文化活動連絡協議会

オ ボランティア養成事業「多文化社会に生きる」講演会

(日時) 平成 30 年 7 月 16 日 (月・祝) 午後 2 時～4 時 30 分

(場所) 川崎市国際交流センター レセプションルーム

(参加者) 30 名

(講師) 明治大学 特任教授

(協力) 多文化活動連絡協議会

カ 外国につながる中学生世代の日本語・強化学習支援者のための公開講座

(日時) 平成 30 年 8 月 4 日 (月) 午前 10 時～午後 5 時

(場所) 川崎市国際交流センター

(参加者) 14 名

(内容)

	内 容	講 師
1	外国につながる子どもたちの現状と課題	多文化活動連絡協議会代表
2	日本語を第二言語とする子どもたちが学ぶために必要なこと	横浜市教育委員会 日本語講師
3	書く力を育てていくための支援方法	横浜市小学校国際教室 非常勤講師
4	学習支援が必要な子供を考えよう	多文化活動連絡協議会代表
5	学習支援者に必要な基礎力	神奈川県立高校 日本語非常勤講師

(協力) 多文化活動連絡協議会

キ 学習支援者のための「在留資格講座」

(日時) 平成 31 年 12 月 8 日 (土) 午後 2 時～5 時

(場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム

(参加者) 17 名
 (講師) 弁護士、多文化活動連絡協議会代表
 (協力) 多文化活動連絡協議会

ク 外国につながる子どもの学習支援・自立支援～キャリアデザインに向けて～

(日時) 平成 31 年 1 月 26 日 (土) 午前 10 時～12 時
 (場所) 川崎市国際交流センター
 (内容) ワールドカフェによるワークショップ
 ・学習支援の活動と期待 ・キャリアデザインを考える
 (講師) (一社) セルフキャリアデザイン協会理事
 (参加者) 13 名

(協力) 多文化活動連絡協議会

ケ 外国につながる子どもの学習支援自立支援～プログラミング体験～

(日時) 平成 31 年 2 月 3 日 (日) 午後 1 時～4 時
 (場所) 川崎市国際交流センター 団体活動ルーム
 (参加者) 16 名

(講師) 川崎市国際交流協会登録ボランティア

(協力) 多文化活動連絡協議会

コ 外国につながる中学生世代の日本語・教科学習支援者のためのブラッシュアップ講座

(日時) 平成 31 年 3 月 9 日 (土) 午前 10 時～午後 5 時
 (場所) 川崎市国際交流センター
 (参加者) 11 名

(内容)

	内 容	講 師
1	外国につながる子どもたちの現状と課題	多文化活動連絡協議会代表
2	日本語を第二言語とする子どもたちが学ぶために必要なこと	横浜市教育委員会 日本語講師
3	書く力を育てていくための支援方法	横浜市小学校国際教室 非常勤講師
4	学習支援が必要な子供を考えよう	多文化活動連絡協議会代表
5	学習支援者に必要な基礎力	神奈川県立高校 日本語非常勤講師

(協力) 多文化活動連絡協議会

サ 多言語読み聞かせ (学習支援)

(日時) (ア) 平成 30 年 10 月 27 日 (土) 午後 1 時～ 4 時
 (イ) 平成 31 年 3 月 21 日 (木・祝) 午後 1 時～ 4 時

(場所) 川崎市国際交流センター

(参加者) (ア) 20 名、(イ) 22 名

(内容) 英語やタガログ語を母語とする子どもたちと、日本語を母語とする子どもたちが、読み聞かせに挑戦した。

(協力) 多文化活動連絡協議会

シ 外国につながる子どもの学習支援・自立支援 <一年間の振り返りの会>

(日時) 平成 31 年 3 月 30 日 (土) 午後 3 時～5 時

- (場所) 川崎市国際交流センター・団体活動ルーム
 (参加者) 8名
 (協力) 多文化活動連絡協議会
- ス 外国につながる子ども・保護者・支援者のための「文化交流」
 (日時) (ア) 平成30年11月11日
 (イ) 平成31年2月17日
 (場所) 川崎市国際交流センター料理室ほか
 (内容) (ア) ロシア料理他、メキシコ・ネパール紹介
 (イ) キルギス料理他、キルギス紹介
 (参加者) (ア) 25名 (イ) 20名
 (協力) 多文化活動連絡協議会
- セ 外国につながる子どもの寺子屋 (教育委員会事業)
 (期間) 平成30年7月21日(土)～平成31年3月30日(土)
 (参加者) 小学生6名 ボランティア9名

■※施設運営及び維持管理業務

(1) 国際交流センターの管理運営 (JV)

ア 統括業務

施設の運営、維持管理業務を円滑に行うため、業務間調整、職員への教育・指導を行った。

イ 施設利用受付及び案内業務

(ア) 来館者に対するサービスに努め、会議室等の鍵の貸出し、利用料の徴収、貸出し備品の管理などの業務を誠実に行った。

(イ) 国際交流センターの特性として、来館される外国人市民等の皆さんに対応するため、語学に堪能な職員を配置するとともに、ふれあいネットや各種機器等への説明、接遇について研修を実施し、利用者に快適なサービスを提供した。

ウ 施設利用促進業務

(ア) 国際交流センターの正面玄関への誘導案内を多言語で街路灯に表示し、来館者の利便性を図った。

(イ) 国際交流センターホテルとの連携を図るため、宿泊に係わる利用案内や各種関連事業の開催について説明し、施設の利用促進を図った。

(ウ) 随時、施設見学を受けて市民への利用促進を図った。

(a) 8月23日 住吉中学校 施設見学インタビュー

(b) 10月4日 住吉小学校「お仕事にチャレンジしよう」体験学習

(c) 10月25日 井田小学校2年生「えがおのひみつたんけんたい」施設見学
インタビュー

(d) 10月30日 下小田中小学校2年生「えがおのひみつたんけんたい」施設見学

(e) 11月1日 井田小学校2年生 仕事体験

(f) 11月27日 下小田中小学校2年生 インタビュー

(g) 12月12日 南大師中学校 職場体験

(h) 1月18日 富士見中学校 職場体験

(i) 1月29日、31日 西中原中学校 職場体験

エ 川崎市国際交流センター活用推進検討委員会の開催

川崎市国際交流センターの活用促進を図るため、川崎市国際交流センター活用推進検討委員会を2回開催した。

(ア) 平成30年10月19日(金) 午後1時30分～3時

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

議事：指定管理者選定評価委員会の評価結果について
センターの活用及び今後の取組について意見交換

(イ) 平成31年3月5日(火) 午後3時～4時30分

会場：川崎市国際交流センター1階 特別会議室

議事：委員によるセンター施設内ツアーを実施した。

和風別館茶室、情報ロビー、ギャラリー、図書・資料室、料理室、ホール
利用者アンケートの実施について(途中経過報告)

- ・図書・資料室利用者向けアンケート用紙
- ・来館外国人市民向けアンケート用紙
- ・センターの活用について意見交換

オ 自動販売機、コピー機及びカラオケ機器(交流サロン)、AED(エントランスロビー)、エントランスロビーや談話ロビー、外国人相談を行う事務室にはインターネットを無料で提供できるWi-Fiを設置することで、利用者へサービスを提供した。

カ レセプションルームに、インターネット環境を無料で提供できるWi-Fiを設置し、利用者へサービスを提供した。

キ 撤去された館内の公衆電話の代わりに、特殊簡易公衆電話(通称ピンク電話)を設置し、利用者の利便性を図った。

ク 外国人市民、来館者を交えた防災訓練の実施

(日時) 平成31年2月26日(火) 午前10時14分～11時50分

(内容) 防災訓練

シェイクアウト訓練と避難訓練、中原消防署と中原消防団による消防訓練、119番通報、AED、三角巾の使い方、水消火器、起震車、web171災害用伝言板及び災害用伝言ダイヤル171の体験、地域と協力した漆黒の暗闇体験と災害用アルファ化米試食、災害用品の展示、やさしい日本語及び多言語による案内、多言語資料の配布、映像による自然災害の脅威紹介

(アンケート) やさしい日本語と日本語でアンケートを行い、体験したもので役にたった企画や内容について、有事の際の参考としてまとめた。

ケ 利用者アンケートの実施

図書・資料室の室内環境や利便性、資料の満足度を調査するため、図書・資料室入室者を対象にアンケートを実施した。

(実施期間) 平成30年10月6日(土)～平成31年3月31日(日)

(回答数) 30名

コ 図書・資料室管理業務

(ア) 図書・資料の閲覧管理業務のほか、情報文化活動の拠点として国際交流に関わる様々な情報の収集及び受入・配架作業を行い、利用者へ国際交流・理解に役立つ情報提供を行った。

(イ) 小学生から高齢者まで幅広い利用者に対し、細やかなサービスの提供を行った。

(ウ) 利用の促進を図るため「図書・資料室だより」を隔月発行し、新着図書の紹介や、特

集としてテーマ別の図書の紹介を行った。発行部数 210 部で近隣の公共機関及び小学校などに配布し、施設の周知に努めた。

(エ) 隔月毎にテーマを設けて図書の展示を行い、多くの入館者へ様々なジャンルの本の紹介をした。

サ 施設・設備の維持管理及び補修業務

(ア) 国際交流センターの施設・設備を総合的に管理し、利用者に対し安全で快適な環境を提供するため、施設の維持管理及び補修業務を行った。

(イ) 中央監視システムならびに施設の巡回点検を通じて、諸設備の安全な運転監視と操作を行うとともに、適切な保守管理を実施して予防保全に努めた。

(ウ) 施設の経年劣化に対応するため、施設・設備の年次補修計画を策定し、効果的かつ経済的な補修を実施した。

(エ) 施設・設備の劣化状況や異常を早期に把握し、適切な予防措置と迅速な処理を実施して、効果的な管理運営と施設の耐久化を図った。

シ 舞台及び AV 機器等維持管理業務

市民文化の醸成と国際文化交流の場とすべく、利用者に機器の使用説明と操作指導を行うとともに、ホール、レセプションルーム、特別会議室等の舞台装置、機器類の維持管理を行った。

ス 施設警備業務

宿泊施設を併設する国際交流センターの事情を考慮し、夜間時の機械警備と連携して一般警備を行い、防犯、防火、防災に努めるとともに、機密の保持に留意した。

セ 駐車場管理業務

駐車場内での車両の適切な配置整理を行うとともに、歩行者及び自転車利用者等の安全を図り、事故防止に努めた。また、外路への渋滞回避など快適な利用が出来るよう配慮した。

駐車場有料化に伴い、毎日の売上金回収、集計、駐車場利用者データ集計を実施した。

ソ 設備保守点検業務

施設機能の低下を防止し、予防保全及び機械・装置の耐久年数を伸ばすとともに、全体の機能が円滑に運用維持されるよう、各設備の定期点検及び法定点検を実施した。

タ 施設環境衛生管理業務

(ア) 建築物における衛生的環境の確保に関する法律（ビル管法）に基づく環境衛生管理基準に従い、室内環境の維持、飲料水の水質管理及び館内消毒を行い快適な利用空間を提供した。

(イ) 空気環境測定業務 年 6 回（奇数月）

(ウ) 飲料水水質検査 年 2 回（2 月・8 月）

(エ) 給湯水水質検査 年 2 回（2 月・8 月）

(オ) 害虫防除 年 12 回

(カ) レジオネラ症対策

空調用冷却塔へ水処理剤の投薬実施。冷却水水質検査年 2 回 6 月・8 月

チ 施設清掃業務

(ア) 施設内外を常に清潔で衛生的な状態に保ち、その保全と美観の維持に努めた。

(イ) 施設ごとに材質及び用途に最も適した方法で清掃を実施した。また、利用者の利便性を考慮して、各施設が利用されていない時間帯に適宜に実施した。

(ウ) フリースペースであるイベント広場の出入口付近は土砂等で汚損されることが多いため、常に巡回清掃に努めた。

ツ 植栽維持管理業務

- (ア) 施設周囲の街路樹等を定期的に剪定し、緑溢れる空間の創造に努めた。
- (イ) イベント広場等の庭園の雑草を定期的に駆除し、利用者の憩いの場の環境維持に努めた。
- (ウ) 茶室及び周辺的环境整備に努めるとともに、茶室庭園の維持管理を行った。

(2) 施設整備

ア 施設の改修

- ・ 消防設備修理工事（防煙垂れ壁）
- ・ 受付前点字ブロック改修工事
- ・ レセプションルーム電動カーテン修理工事
- ・ 車寄せ照明器具設置工事
- ・ 監視カメラ及びハードディスク交換工事
- ・ 共用通路照明不具合 LED 化工事
- ・ レクリエーションルーム天井昇降装置交換工事
- ・ 多目的トイレサーキュレーター取付工事
- ・ 空調機（AC- 8）外気ダンパー操作器交換工事
- ・ ギャラリーケース照明改修工事（LED）

イ 施設的环境整備等

- ・ 2階交流ロビー 窓ガラスに遮熱フィルム貼り工事
- ・ 外構 イベント広場レセプションルーム側通路インターロッキング補修工事
- ・ 外構 駐車場入庫側歩道補修工事
- ・ 外構 まちかど広場掲示板整備
- ・ 図書・資料室 椅子 30脚張替修理
- ・ トイレ 洗浄暖房便座修理
- ・ 館内 案内サインシート整備
- ・ 道標パネル更新
- ・ 料理室 調理器具整備
- ・ 茶室 茶道具用品収納台更新

(3) 市民共同おひさま発電所

ア 経過等

平成 20 年 8 月に川崎市国際交流センターに「市民共同おひさま発電所」が設置された。

地球温暖化対策問題に取り組む市民が中心となり立ち上げた「市民共同発電所プロジェクト」が市民、事業者から集めた寄付金、グリーン電力基金からの助成金及び「ap bank」からの融資を受け自ら設置し、川崎市に寄付したものである。

川崎市の再生可能エネルギーの導入を進めるシンボルとして、センターを訪れる外国人をはじめ多くの人達に、地球温暖化対策に取り組む川崎市民のメッセージを継続的に発信してきた。「川崎地域エネルギー市民協議会」が平成 28 年 1 月に設立されたが、「市民共同おひさま発電所」は協議会の主要メンバーである。

（日時）平成 30 年 9 月 30 日（日）午前 9 時 30 分から 11 時 30 分

（場所）川崎市国際交流センター レセプションルーム

(内容) 10周年記念イベント「おだやかな革命」映画上映

会津、飯館村、石徹白(いとしろ)、西粟倉村などの再生可能エネルギーを活用した暮らしの風景を描いた映画。参加者 49 名

上映会終了後には、参加者有志が川崎市国際交流センターに設置されている太陽光発電設備を見学。

イ 設備の概要

太陽光発電(合計出力) 6.25KW

(内訳) 川崎市国際交流センター陸屋根設置分 4.32KW、プロムナード上部設置部分 1.93KW

事業費 約 850 万円(内訳) 寄付金 150 万円、グリーン電力基金 700 万円

(4) 利用実績

ア 平成 30 年度 川崎市国際交流センター来館者数(月別)

4 月	17,026 人
5 月	19,650 人
6 月	18,179 人
7 月	33,356 人
8 月	13,214 人
9 月	17,195 人
10 月	17,713 人
11 月	18,163 人
12 月	15,529 人
1 月	15,307 人
2 月	18,721 人
3 月	16,830 人
合 計	220,883 人

※月別の来館者数は、施設利用者、一般来館者、図書・資料室利用者、インターネット利用者、各種講座・イベント等参加者の合計

イ 川崎市国際交流センター施設利用状況(年間開館日数: 344 日)

施設名	利用コマ数	利用率%	施設名	利用コマ数	利用率%
ホール(264)	747	72.4	特別会議室(28)	108	10.5
レセプションルーム	602	58.3	特別応接室(8)	158	15.3
会議室(第1)(36)	507	49.1	料理室(24)	243	23.5
会議室(第2)(24)	644	62.4	交流サロン(30)	861	83.4
会議室(第3)(24)	667	64.6	茶室	339	32.8
会議室(第4)(30)	484	46.9	レクリエーションルーム	973	94.3
会議室(第5)(30)	542	52.5			
会議室(第6)(18)	776	75.2			
会議室(第7和室)(10)	701	67.9			

(注) 1 ()は定員

2 利用コマ数は、利用区分(午前、午後、夜間)合計の実利用数

3 利用率は、小数点以下 2 桁を四捨五入